

昭和60年度支部総会報告(2)

関西支部

日時：昭和60年4月18日

会場：関西情報センター会議室

(1) 昭和59年度事業報告書

1. 総会・記念講演会の開催

昭和59年4月13日(金)

於：(財)関西情報センター会議室

(大阪国際貿易センタービル4階)

●記念講演

「On models of transactions」

Prof. J. A. Brzozowski (Waterloo大学)

「大阪市消防局の消防活動支援計算機システム
について」 江上文善氏(富士通㈱)

●議題

2. 支部見学会の開催

昭和60年2月19日(火)

大阪市消防局指令室(大阪市西区新町1-26-3)

を見学

見学者の定員15名に対し、13名の参加があった。

3. 支部研究講演会の開催

●第1回 昭和59年6月7日(木)

於：コンピュータ・サービス㈱ 視聴覚室

「電力システムの最適化」

青木兼一氏(広島大学)

●第2回 昭和59年9月1日(土)

於：兵庫県民会館601会議室

「政策科学に望む」 新野幸次郎氏(神戸大学)

「デシジョン・サポート・システムの現状と展
望」 松崎功保氏(日本IBM㈱)

「On Model Base Management」

A. D. Narasimhalu 氏(日本IBM㈱)

●第3回 昭和59年10月20日

於：大阪大学基礎工学部数理教室

5階大セミナー室

「Large Core をもつ Game について」

菊田健作氏(富山大学)

「Entropy Model of Brand-Purchase

Behavior」

坂口 実氏(大阪大学)

●第4回 昭和59年11月28日(水)

於：コンピュータ・サービス㈱ 会議室

「Optimal Control of a Removable Server
in a Queueing System: A Survey, Some
New Results and Open Problems」

J. Teghem Jr. 氏(モン工科大学)

「A Survey of Aggregation Methods for
Solving Complex Systems」

P. J. Schweitzer 氏(ロチェスター大学)

●第5回 昭和60年2月2日(土)

於：大阪経済大学

「学術データベースと検索」

—検索機能のシステム開発への応用—

磯本征雄氏(名古屋市大計算センター)

「情報検索技法の動き」

経営科学文献情報検索研究部会メンバー

4. 研究部会の開催

●システム最適化研究部会

担当主査：田畑吉雄(大阪大学)

幹事：石井博昭(大阪大学)

コンピュータ・サービス㈱、住友ビルの会議

室等を会場として年7回の例会(発表件数は13
件)を開催。部会のメンバーは約50名で、例会
参加者は17名。

●決定モデルとその応用研究部会

担当主査：坂口 実(大阪大学)

幹事：中井暉久(大阪大学)

大阪大学基礎工学部数理教室を会場として、
9回の例会(発表件数は18件)を開催。部会のメ
ンバーは28名で、例会参加者は平均15名。

- 応用確率論研究部会
担当主査：大野勝久(甲南大学)
幹事：大西匡光(京都大学)
大阪大学，中央電気倶楽部，京大会館等を会場として，5回の例会(発表件数は10件)を開催。部会のメンバーは約25名で，例会参加者は17名。
- 経営科学文献情報検索研究部会
担当主査：横山 保(高岡短期大学)
幹事：萬代三郎(大阪大学)
大阪大学，大阪経済大学を会場として，21回の例会を開催。部会のメンバーは約10名で，例会参加者は5名。
- 政策科学研究部会
担当主査：小笠原暁(芦屋大学)
幹事：有馬昌宏(神戸商大)
芦屋大学，兵庫県民会館を会場として，5回の例会を開催。部会のメンバーは約70名で，例会参加者は30名。

(2) 昭和59年度決算報告書

昭和60年2月28日現在

1. 貸借対照表

貸 方		借 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
預 貯 金	119,670	前期繰越金	323,281
		当期運営残高	△203,611
合 計	119,670	合 計	119,670

2. 収支決算書

自昭和59年3月1日～至昭和60年2月28日

(収入の部)

科 目	予 算	決 算	備 考
本部交付金	668,000	668,000	
預貯金収入	0	5,319	利 息
合 計	668,000	673,319	

(支出の部)

科 目	予 算	決 算
会 議 費	90,000	110,810
研究講演会費	240,000	171,600
研究部会費	300,000	302,600
通 信 費	190,000	175,550
交 通 費	40,000	21,000

事 務 費	100,000	92,370
予 備 費	31,281	3,000
合 計	991,281	876,930
当期運営残高		△203,611
前期繰越金		323,281
次期繰越金		119,670

(3) 昭和60年度事業計画

1. 総会・記念講演会の開催

昭和60年4月18日(木)

於：(財)関西情報センター会議室

(大阪国際貿易センタービル4階)

● 記念講演

「取替問題とマルコフ決定過程」

河合 一氏(大阪府立大学)

「ORと信頼性工学」

三根 久氏(関西大学，京都大学名誉教授)

● 議題

2. 支部大会の開催

● 事務局が支部大会の開催が必要と判断した場合に運営委員と相談の上開催する

3. 支部研究講演会の開催

● 4回を予定

● 担当主査：各研究部会の主査または支部長

4. 研究部会の開催

● システム最適化研究部会

主査：田畑吉雄(大阪大学)

幹事：石井博昭(大阪大学)

● 応用確率論研究部会

主査：大野勝久(甲南大学)

幹事：大西匡光(京都大学)

● 経営科学文献情報検索研究部会

主査：横山 保(高岡短期大学)

幹事：萬代三郎(大阪大学)

● 政策科学研究部会

主査：小笠原暁(芦屋大学)

幹事：竹田英二(神戸商科大学)

* 年度始めにアナウンスをする。

* 研究講演会を開催する。

* 各研究部会の継続年数については同じ主査，幹事のもとでは最長3年間とし，原則は2年間とする。

5. 見学会の開催

担当主査：田畑吉雄

6. その他

(4) 昭和60年度予算

自昭和60年3月1日～至昭和61年2月28日

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
本部交付金	668,000	会議費	90,000
前期繰越金	119,670	研究講演会費*	200,000
		研究部会費	200,000
		通信費	180,000
		交通費	20,000
		事務費	70,000
		予備費	27,670
合計	787,670	合計	787,670

* 支部大会費を含む。

(5) 昭和60年度支部役員

支部長 坂口 実(大阪大学)
 副支部長 中道 博(追手門学院大学)
 監事 木内佳市(追手門学院大学), 加藤重義(住友銀行)
 運営委員 中川 勝(住友金属工業), 河合 一(大阪府立大学), 木瀬 洋(京都工繊大学), 室章治郎(京都大学), 森 健一(大阪府立大学), 大野勝久(甲南大学), 田畑吉雄(大阪大学), 中野友次(松下電子), 宮崎秀紀(兵庫県庁), 藤井 進(神戸大学), 寺岡義伸(姫路工業大学), 湊 晋平(武田薬品工業), 福嶋雅夫(京都大学), 加藤直樹(神戸商科大学), 石井博昭(大阪大学), 王置光司(追手門学院大学), 石堂一成(三菱重工業), 竹田英二(神戸商科大学)
 幹事 中井暉久(大阪大学)
 昭和59・60年度支部選出評議員
 坂口 実, 石堂一成, 田畑吉雄, 大野勝久, 中川 勝, 木瀬 洋, 安永通晴

中国四国支部

日時: 昭和60年4月10日(火)
 会場: 中国電力㈱

(1) 昭和59年度事業報告

- 総会 1回
 日時: 昭和59年4月10日(火) 11:00~12:00
 場所: 中国電力㈱

議題: 昭和58年度事業・決算報告, 昭和59年度支部役員選出
 昭和59年度事業・予算計画, その他

- 役員会 1回
 日時: 昭和59年4月10日(火)
 場所: 中国電力㈱
 議題: 昭和59年度支部総会の件
- 幹事会 3回
 日時: 昭和59年3月16日(金), 昭和59年4月10日(火), 昭和59年12月12日(水)
 場所: 中国電力㈱
- 講演会 6回
 - 日時: 昭和59年3月2日(金) 13:30~15:00
 場所: 中国電力㈱
 演題: 『問題解決のシステムのアプローチ』
 講師: 前川良博(横浜商科大学経営情報学科教授)
 - 日時: 昭和59年3月16日(金) 13:30~15:00
 場所: 中国電力㈱
 演題: 『OA時代のシステム作りと人作り』
 講師: 奥田好郎(四国電力㈱支配人情報システム部長)
 - 日時: 昭和59年4月26日(木) 13:30~15:00
 場所: 中国電力㈱
 演題: "Economic Models of Regional Waste Management" (『地域ゴミ処理の経済モデル』)
 講師: Prof. Dr. H. W. Gottinger
 通訳: 尾崎俊治(広島大学工学部助教授)
 - 日時: 昭和59年5月30日(水) 13:30~15:00
 場所: 中国電力㈱
 演題: 『知識工学とその応用』
 (意思決定のためのコンピュータ技術)
 講師: 鈴木道夫((財)電力中央経済研究所情報システム部主査研究員)
 - 日時: 昭和59年12月21日(金) 13:30~15:00
 場所: 中国電力㈱
 演題: 『企業におけるORとOAについて』
 (パソコンを使った会話型ORの1つの試み)
 講師: 榎本久徳(中部電力㈱情報システム部次長)
 - 日時: 昭和60年1月22日(火) 13:30~15:00
 場所: 中国電力㈱
 演題: 『電力系統の最適問題』
 講師: 青木兼一(広島大学工学部教授)
- 研究会 2回
 - 日時: 昭和59年5月31日(木), 6月1日(金)

場所：川崎製鐵粉水島製鐵所，研修所
 ②日時：昭和59年12月12日(水) 13:30～16:30
 場所：中国電力

6. 研究懇談会 2 回
7. 研究会 若干回
8. 研究部会 若干回
9. 見学会 1 回
10. その他

(2) 昭和59年度決算報告書

1. 貸借対照表

昭和60年2月28日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	10,898	前期繰越金	329,324
預 金(1)	450,632	当期運営残高	132,206
合 計	461,530	合 計	461,530

(1) 広島銀行西条支店

2. 収支決算書

自昭和59年3月1日～至昭和60年2月28日

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部交付金	394,000	394,000	定例講演会費合
預金利息	3,000	4,335	
その他	0	5,000	共催講演会謝礼
(1) 合 計	397,000	403,335	
(支出の部)			
会 議 費	50,000	52,069	
講 演 会 費	120,000	92,785	
研 究 会 費	150,000	47,200	
研究懇談会費	60,000	0	
通 信 費	70,000	3,075	
印 刷 費	80,000	20,000	
交 通 費	90,000	56,000	
事 務 費	40,000	0	
雑 費	30,000	0	
予 備 費	36,324	0	
(2) 合 計	726,324	271,129	
(3)当期運営残高		132,206	(1)-(2)
(4)前期繰越金		329,324	
(5)次期繰越金		461,530	(3)+(4)

(3) 昭和60年度事業計画

1. 総 会 1 回
2. 役 員 会 若干回
3. 幹 事 会 若干回
4. 講 演 会 4 回
5. 研究発表会 3 回

(4) 昭和60年度支部収支予算

自昭和60年3月1日～至昭和61年2月28日

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	461,530	会 議 費	50,000
本部交付金	375,000	講 演 会 費	120,000
預金利息	4,000	研 究 会 費	150,000
		研究懇談会費	60,000
		研究部会費	100,000
		見学会費	50,000
		通 信 費	70,000
		印 刷 費	80,000
		交 通 費	90,000
		事 務 費	40,000
		雑 費	30,000
		予 備 費	530
合 計	840,530	合 計	840,530

(5) 支部役員

支 部 長 青木兼一(広島大学)

副支部長 貝川健一(中国電力)，権藤 元(近畿大学)，
平井信恒(川崎製鉄)，藤永靖彦(宇部興産)，
村岡光治(マツダ)

支部評議員 尾崎俊治(広島大学)，佐藤洋一(四国電力)，
新宮哲郎(広島大学)，住山哲夫(中国電力)，高
田俊夫(川崎製鉄)，成久洋之(岡山理科大学)，
布留川靖(広島大学)，松富武雄

支部監事 増本借二(中国電力)，和田 弘(石田データ
サービス)

支部幹事 井塚滋夫(川崎製鉄)，海生直人(広島修道大
学)，金子準二(宇部興産)，久保田洋志(広島工
業大学)，桑原兵二郎(近畿大学)，近藤忠彦(中
国電力)，佐藤泰司(広島大学)，鳥居 裕(四国
電力)，平木秀作(広島大学)，村上義博(広島大
学)，柳 泉(マツダ)

九州支部

日時：昭和60年4月24日(水)

場所：九州電力㈱ 本館1102会議室

1. 活動報告

(1) 昭和59年度事業報告

	日時	場所	参加人員	テ ー マ	講 師
会 議	59年3月22日	九電	9	59年度活動方針案の作成	
	4月24日	"	27	支部総会	
講演会	"	"	27	コンピュータによるテキスタイルデザイン 技術の開発	福岡県福岡工業試験場 繊維課 藤元正二
見学会	9月26日	天山揚水 発電所	19		九州電力
研究会	10月29日	九電	15	生産管理とOR	九州産業大学経営学部 助教授 國狭武巳
講演会	12月5日	"	14	第1回日中統計シンポジウムに参加して	九州大学経済学部 教授 児玉正憲
研究会	60年1月23日	"	16	連関図と DEMATEL との組合せによる 問題構造の把握 (パソコン処理システム SAMDIC-P)	安川電機製作所 情報 システム開発 営業部 関谷順太
その他				支部ニュースの発刊(4回)	

2. 春季研究発表会関係

	日時	場所	参加人員	内 容
実行委員会	59年5月29日	九電	14	会議、準備作業分担および特別テーマの決定
"	9月20日	"	13	予算案審議、大会主旨説明原稿作成
"	12月11日	"	13	経過報告、特別講演者、事業所単位事例発表の候補企業 および依頼者決定、見学会候補地の審議
プログラム編成会議	60年2月18日	"	6	プログラム編成作業
"	2月19日	"	4	"
"	2月25日	"	5	"
実行委員会	2月28日	"	10	プログラム編成の確認、見学会実施方針、具体的運営お よび作業分担の決定

(2) 昭和59年度決算報告

1. 一般会計

昭和60年2月28日 (単位：円)

収支	項 目	予算額	実 績
収入	前年度からの繰り越し 本部交付金(年間会費)	820,943	820,943
	" (講演会)	228,000	228,000
	利 息	18,000	5,000
	合 計	30,000	37,510
		1,096,943	1,091,453
支出	会議費(総会)	60,000	59,700
	運営会議費	20,000	14,520
	研究活動費		
	月例研究会	45,000	19,000
	講演会	54,000	13,920
	見学会	30,000	30,120
	通信費	45,000	52,000
	その他	5,000	
全国(春季)大会	500,000	500,000	
合 計	759,000	689,260	
残高	次年度へ繰り越し	337,943	402,193

2. 全国(春季)大会

(単位：円)

収支	項 目	予算額	実 績
収入	一般会計から繰り入れ 合 計	500,000 500,000	
支出	会議費 その他 合 計		109,310 1,900 111,210
残高	次年度へ繰り越し		388,790

(3) 昭和60年度活動計画書

1. 定例活動

日 時	活 動 内 容	講 師
60年4月	総会、講演会	九工大
7月	研究会	九産大
9月	研究会	西鉄
11月	研究会	九大
61年1月	研究会	新日鉄

2. 全国(春季)大会
60年5月 大会開催

(4) 昭和60年度予算書

自昭和60年3月1日～至昭和61年2月28日
(単位：円)

収支	項目	予算額	
収入	前年度からの繰り越し	790,983	〔一般会計から 402,193 全国(春季) 大会から 388,790〕
	本部交付金(年間会費)	228,000	
	〃 (講演会)	18,000	
	利息	15,000	
	合計	1,051,983	
支出	会議費(総会)	75,000	
	運営会議費	34,500	
	研究活動費		
	月例研究会	52,500	
	講演会	35,000	
	通信費	72,000	
	その他	5,000	
全国(春季)大会	388,790		
	合計	662,790	
残高	次年度へ繰り越し	389,193	

(5) 昭和60年度役員

支 部 長 児玉正憲(九州大学)

副支部長 山川典宏(九州産業大学), 野中淳良(九州電力)

支部運営委員 須永照雄(九州大学), 浅野長一郎(九州大学), 古川長太(九州大学), 藤野義一(九州工業大学), 村上周太(九州工業大学), 関 弘之(三菱化成工業), 平川紀夫(新日本製鉄), 白石晃久(黒崎窯業), 徳久太一(西日本新聞社), 永次 広(安川電機製作所), 白石武夫(九州電力), 吉村博之(西日本鉄道)

支部監事 福田晋一郎(西日本鉄道), 阿南信博(西日本新聞社)

会員訃報 堀川映二氏 73才.

6月29日脳溢血のため死去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

追 悼

堀川 映二さんを憶う

三上 操

天衣無縫, 邪気悪意がまったくなく愛すべき, 人に求めず, 人に気をおかせず, 快談好き, そして自由奔放のように見えるが, 抑えるべきところを抑える人, それが堀川さんだった。

彼との出会いは, メモで昭和35年3月18日, 八幡製鉄のクラブで住友金属の藤尾氏(故人), 日本IBMの竹下氏, 八幡の勝井課長, 堀川氏と5人会食にはじまるらしい。この日はお偉方前でコンピュータは企業でペイするかどうかを論じたはずで, まだそんな時代のことである。同年9月に開設された八幡の学卒者教育のOR講座にまねかれ, 堀川さんがお目付役で傍聴していることがよい。おれもしゃべることに自信があるが, 君も相当だね, と。以後20数年にわたる交遊がはじまり折にふれ快談, 快飲を重ねたものである。彼は糖が出てビールを制限されていたが, 守るのははじめだけ, あとは数に入れないのである。

早くから社内でもOR手法を駆使し多くの難問を解いて貢献していることもやがて耳に入ってくる。もちこまれた問題を黙って聞いていて, この種のデータを集めてこいと指示するときはほぼ問題は解けて

いるという。しかし彼が業績をみずから口にするのではない。若い人の世話もよくして, 学位論文作成で手をかしたのも2, 3に止まらないはずである。つき合いは好きだが求めはしない。学会のパーティーのスピーチなど応ぜず, 自分を売り込まず, 栄達には無関心だった。

社内では変人奇人で通り, 多くの逸話, 伝説も残している。早く辞めさせろといった人も知っているが, まったく彼の貢献を知らない話で, ほんとに1人の天才であったと思う。

永年つき合ったが, OR関係以前の経歴などふれたことがなく詳かにしない。しかし八幡製鉄所, つづく九州工大の定年後東亜大在勤中に, 北九州大学院要員への推薦を快諾しその任を果された頃までの交誼は懐かしい。いつかのOR学会九州支部総会の折, 瘦せ方を見て気にしながら, 周囲の人の事情も変り, 情報は杜絶え疎遠になった今日, 学会からの追悼文執筆依頼ではじめて訃音を知ったのは申し訳ない。

ORの先覚, 実践者として高く評価さるべき人物で, 巨星墜つとの感を禁じ得ない。